

# 伝統の獅子舞 継承を誓う

## 育成小学校で三方荒神鹿島獅子の引き継ぎ式



6年生が見守る中、5年生が中心となって息の合った踊りを披露



1年間活動の中心を努めた6年生

育成小学校の児童らが昭和49年から伝承に努めている郷土芸能「三方荒神鹿島獅子」の引き継ぎ式が2月21日、同校で行われ、卒業する6年生が下級生に伝統の継承を託しました。

引き継ぎ式では、踊りと囃子の新しいリーダーが紹介され、間山千尋さん（5年）が「下級生にわからないことがあったら先輩たちのようにしっかりと教えます」と抱負を発表。続いて演技披露が行われ、前半は6年生が、後半は5年生が中心となって5つの場面を堂々と演じました。最後に5年生の山谷麻尋君が6年生から保存会旗を受け取り、「伝統ある獅子舞をしっかりと受け継ぎ素晴らしい獅子舞にするため頑張ります」と力強く誓いました。



伝統の保存会旗の受け渡し式

### 6年生からのメッセージ

練習の積み重ねが大切

踊り(おがしこ)／天坂樹良 君

4年生の時なかなか上達できなくて大変な時期がありましたが、自分から練習をお願いして頑張って壁を乗り越えました。練習を重ねて自分たちよりさらにいい獅子舞にしてほしい。



### 5年生の決意

伝統を胸に受け継ぐ

囃子(笛)／今 梨乃 さん

6年生のように高い音が出せるように目標を立てながら練習に励みたいです。240年もの伝統を胸に責任を持ってしっかり受け継いでいきます。



### 獅子舞は精神的な柱

石岡 誠子 校長

みんな好きで取り組んでいるのがいいところです。「獅子舞」という目標に対して力を合わせ、上級生から下級生に伝え、弱点を克服していく。獅子舞を通して「周りを見る目」や伝統を大切にしている心も育まれています。獅子舞を柱に子どもたちが成長していくのがわかります。



### 三方荒神鹿島獅子

(さんぼうあらがみかしまじし)

相野地区に江戸時代から伝わる郷土芸能。約240年前、鹿島神社から授かったのが起源とされる。鹿と案内役の猿が山を下りてきて橋を渡し、森のある神社で参拝して神楽を舞うという内容。猿(おがしこ)・男獅子・女獅子・中獅子・山持ちの踊りと、太鼓・笛・手平鉦(ジャガラ)の囃子から構成される。